

にあるのであらう。

こんな意味からして、屋内保育の多い雨の季節には特別

雨の日の観察あそび

に自由遊びと手技との考究を一層深めて幼児たちの自由遊びの指導を充實させてゆきたいものである。

清 水 光 子

落付いて物をみるこころがぎんないゝこころか面白いこころか知らせるこ言つては過ぎるが楽しんで物をみる習慣をつけたいと思ふ時、雨の日をこれ幸とする事もある、きのふも今日も雨で、内の中だけで遊ばなくてはならないで、あふれる勢力がはけ口をみつけてうづつ／＼してゐる時、一方では身体的に一ぱいにそれをみたくしてやり、又一方では閉ぢこもつた仕事にならない明るい観察あそびをさせる事が一つのはげ口にもならうかき、今迄してみた事を二つ三つ、皆様の御批評をいたゞき度く書いてみる。

(一)あてつこあそび

子ぎもは腰掛けてゐる。先生が「今先生がこのお部屋のぎこかにあるものを考へてゐます。何だかみんなであてるのですよ、みんなものだかを言ひますからよくきいていらつしやい」を前置きして例へば少し細長く丸い形で上に穴があいてゐて、色は白いのです、そして少し光つてゐます。

さわるこつめたいでせう。土でこしらへたものですつて、これはきれいなお花が大好きなのです。「花瓶でせう」こいふやうに當てさせる。色や、形、動き、材料などを注意して言ふやうにする。

(二)こ商賣こころ

町でよくしてゐる遊びで、これもあてつこ遊びであるが。甲乙二組に分れてきちらか先に、豫め相談してきめておいた商賣の様子のみねをみんなで他方の人達の前でするのである。例へばお百姓さんなら鎌を擔いで畑にゆき、たがやす様子種子をまく様子かり入れる様子をしてあてさせる。うまく當つたら大いそぎで自分の椅子にもぐる。もごらぬ前に相手側につかまつたらそちらの組に入るこころにする。この遊びは町でしてゐる時は甲「今日は乙」「いらつしやいませ。お國は甲」「日本乙」「御商賣は」「いふ應答の後にまねが始つてゐる。間接の観察であるが商賣について子ぎも

らしい表現をして驚かされもし、こちらも面白く遊んでしまふ遊びである。

(三) 繪の切り抜き

繪による觀察は觀察の邪道であらうけれど又これには理屈をつけることで雨の日にこんなこともよいかと思つてしてみた。よい繪を、成可く漠然とでなく、動物さか、車さか、船さかといふ様にはつてみんなにみせ、(それが許されるなら切抜いてもいゝけれど)見て繪にかいてそれを切り、ハトロン紙か、包紙なごを利用してみんなのをまきめて繪本にする。動物繪本、乗物づくしといふやうに。

遊 戲

雨の日の遊戯といつても、ピアノに合はせて行ふ所謂遊戯は、特別に變つたものをするこゝもないし、やはりいつもしてゐるものをする様になると思ふ。たゞ主題が雨に關するものは特にこゝいふ日にしてゐるものであらう。雨の日は兎角幼兒の運動量が少いといふところからそのありあまる力の持つて行き場に困る、そこで遊戯も成可く運動量の多いものがぞましい。又思ひきり力を出させるこゝの

その他雨の日には兎角おへやがこもり勝ちであるから一度はよく窓をあけて、外を眺める事もし度い。お天氣に氣をつけてその日のお天氣を色で表して毎日はりつけてこの週は晴が何日、雨が何日といふ様に氣をつけるこゝもし度いこゝである。この頃よく咲く花しようぶに赤インクを吸はせてみるのも面白いであらうし、きぬ絲草を水盤に蒔いて楽しむのも五月雨のころがふさはしい氣がする。又幼稚園に物理を持たむのも如何かと思はれるが先生が手品をして簡單な不思議をしてみせるのも楽しい一時が過せる面白いこゝであらう。

小 島 そ の

出来る競技的遊戯を是非もしたいと思ふ。幼稚園によつては遊戯室は無くして小學校の體操場を用ひてゐるこゝもあるし、又遊戯室はあつても雨の日はその廣い部屋を一組で獨占するこゝいふこゝも出来ないと思ふので、特に遊戯室でなくとも普通の保育室で充分に面白く遊べるこゝいふ遊戯を、日頃幼兒一しよに工夫してみたものゝ中から二つ三つを次に記してみる。